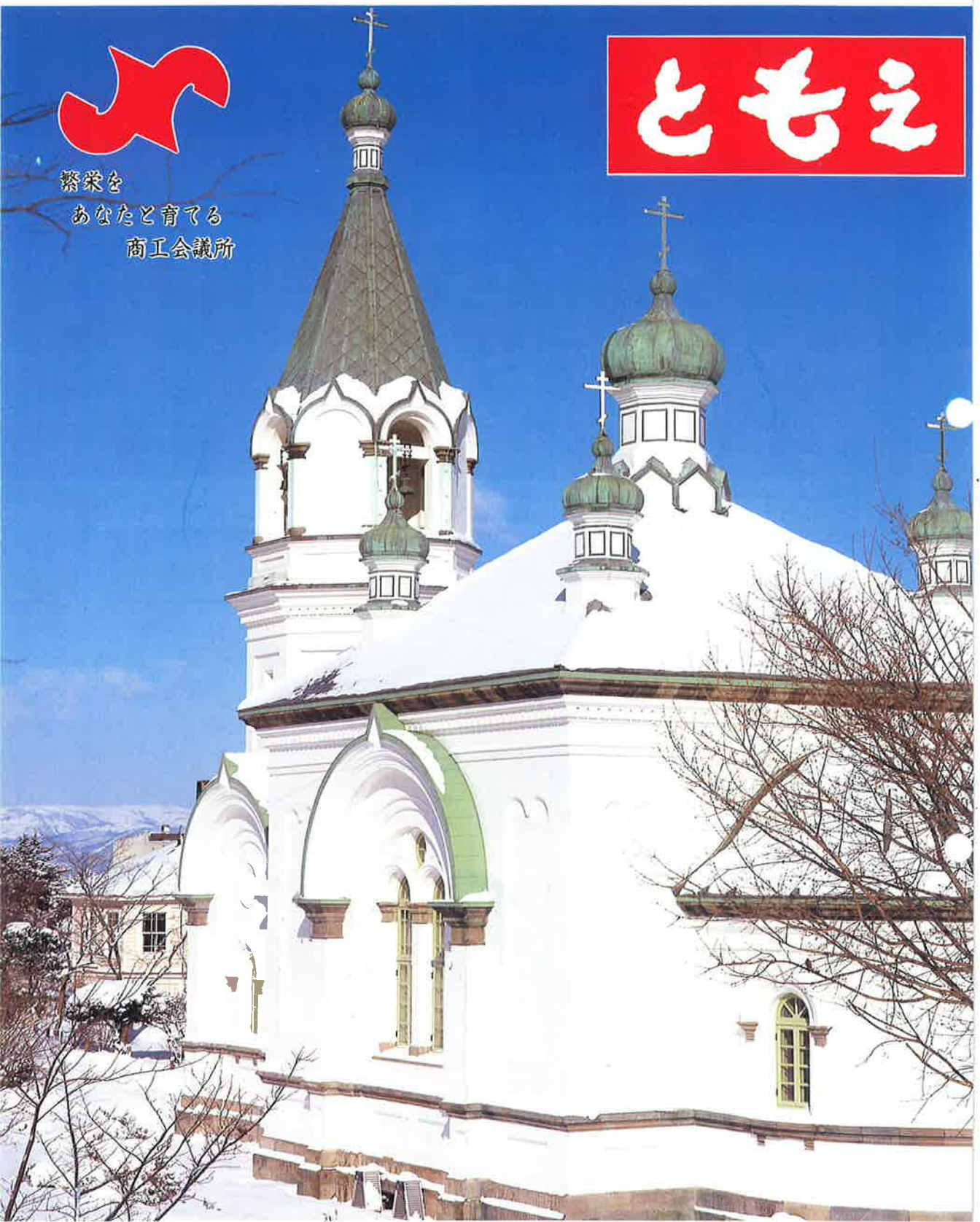




繁栄を
あなたと育てる
商工会議所

ともえ



No. 148

■ 函館商工会議所報 ■

1994 新年号

はこしんは豊かな暮らしと
確かな未来の実現に
お手伝いいたします。

みなさまの



函館信用金庫

本部 函館市豊川町7番19号 TEL22-1241(代)

本店	函館市豊川町15番20号	TEL 22 - 1247(代)	亀田支店	函館市亀田本町56番4号	TEL 42 - 3820(代)
松風町支店	函館市松風町11番15号	TEL 23 - 6221(代)	中道支店	函館市中道1丁目24番12号	TEL 51 - 1711(代)
ばんだい支店	函館市宮前町14番15号	TEL 41 - 6236(代)	上磯支店	上磯郡上磯町飯生町2丁目4番24号	TEL 73 - 2151(代)
五稜郭支店	函館市本町30番24号	TEL 52 - 0511(代)	えさん支店	亀田郡恵山町字中浜115番の4	TEL 84 - 2111(代)
弁天支店	函館市弁天町13番11号	TEL 26 - 3646(代)	七飯支店	亀田郡七飯町字本町392番8	TEL 65 - 2501(代)
千代台支店	函館市千代台町12番22号	TEL 51 - 5238(代)	木古内支店	上磯郡木古内町字本町53番1	TEL 木古内 2 - 3121(代)
湯川支店	函館市湯川町2丁目18番7号	TEL 57 - 1492(代)	知内支店	上磯郡知内町字重内13番地の11	TEL 知内 5 - 5611(代)
花園支店	函館市日吉町1丁目27番3号	TEL 53 - 5521(代)			

Lhくみのローン

手続カンタン
スピード融資

目的ローン

マイカーローン

ビジネス・オートローン

★詳しくは窓口へ
お問い合わせ下さい。



・コミュニティバンク・

函館商工信用組合

本店 函館市千歳町9の6 ☎(代)23-2101

- 湯川支店 ☎57-0572(代)
- 上磯支店 ☎73-2308(代)
- 美原支店 ☎46-9121(代)
- 十字街支店 ☎26-5544(代)
- 花園支店 ☎55-2110(代)
- 富岡支店 ☎43-1311(代)

●ともえ新年号(通巻148号) 目次●

今月の表紙／視点	1
年頭所感	2
函館商工会議所 会頭 若林利次	3
日本商工会議所 会頭 稲葉興作	4
会議所の動き	9
・第五回臨時議員総会を開催	
・第35回優良商工従業員表彰式を挙行	
・青函グルメサミット開催	
・1部会幹事会4委員会開催	
・創立百年記念事業実行委員会開催	
・青森・函館ツインシティ推進協議会開催	
・陳情・要望活動等を積極的に展開	
・経済団体問題研究会開催	
新春誌上名刺交換	10
新春対談	18
「21世紀の函館を語る」	23
出席者	
・函館商工会議所会頭 若林利次氏	
・函館市亀田商工会会長 大角正治氏	
・函館市銭亀沢商工会会長 中浜八郎氏	
別寄稿	24
・十二支物語 今年は戌年	25
・成人おめでとう	
調査レポート	26
・地域の景気金融経済概況	35
・市内第一種大規模小売店舗売上高	十月 十一月
・モデル条件別賃金調査速報	十月 十一月
・函館地域における景気動向	平成五年年度 第二四半期
アドバイスコナー	36
・戦略的経営計画のたて方・ポイント	37
Q & A	38
・共済推進コーナー	39
・函館商工会議所「四共済のご案内」	
・インターネット	40
・ご案内	41
・ご案内	42

◇今月の表紙
函館ハリストス正教会

(国指定の重要文化財)
市内元町の大三坂に登った地点に建つ「函館ハリストス正教会」は、安政六年(一八五九年)にロシア領事館の敷地内に建てられた付属聖堂が前身である。明治五年(一八七二年)には領事館の廃止により、我が国最初の聖堂としてロシア正教会に移管されたが、明治四十年(一九〇七年)の大火で焼失したため、大正五年(一九一六年)に新しく建造された。近年では、文化庁の指導のもと、昭和六十二年より二カ年にわたり、総事業費約二億円をかけて本格修復工事が行われ、現在に至っている。

建物は、木造二階建て、純白塗装の荘厳なロシア風ビザンチン様式であり、本堂九天井に特徴がみられる。その鐘の首から通称ガンガン寺と呼ばれ、多くの市民に親しまれている。東京・神田のニコライ堂の鐘は、昭和三年にここから移されたものである。

視点



新年明けましておめでとうございます。昨年より一段と厳しさを増した経済情勢の下で、平成六年のお正月を迎えました。

平成五年は、天候不順、二回の大地震、野党八党派による連立政権の発足、そして不況の深刻化など問題の多い大きな年のお正月でもありました。

このため、平成三年四月に不況期を迎えた経済対策も遅れがちとなり、公定歩合一・七五％という超低金利時代の中で、なお先行きに不安がもたれ、年頭に予想されていた秋頃の底入れ見通しも撤回されるなど、景況は一段と厳しさを増し、雇用問題も新聞紙上を賑わすようになりました。また、冷害のため戦後最大の不作となった米作についても、海外からの米の緊急輸入という事態の中で、ウルグアイランドによる米の輸入も決定しました。

このようにみえますと、平成六年という年は、非常に重大な使命を持った年であるということに気付かれると思います。日本の二十一世紀は、この平成六年の対策で定められることが多いこともできましよう。

国内産業の海外展開の要因の一つでもある賃金水準の見直しなども、国内消費物価のあり方と連動させていく必要があり、二十年後には現実のものとなる若年労働力の四割減などに対する省力化の問題などもあり、体力のある今の内に、低金利制度を活用して推進させていかねばなりません。今年もどうやら忙しい年になりそうです。

年頭所感



函館商工会議所

会頭 若林利次

平成六年の新春を迎え、謹んでお慶びを申し上げます。

昨年は、国連が中心となりカンボジア問題が解決されましたが、なお、世界中では地域的な紛争も相当残されており、国際秩序の確立に向けての努力を、今年も続けていく必要があると存じます。また、経済の分野におきましては、中国始め東南アジア諸国では比較的高い成長もみられましたが、総じて停滞基調から脱しきれず、全体としてはかなり厳しいものであったといえると思います。

一方、平成三年四月より調整期に入ったわが国経済は、昨年、暖冬、冷夏そして長雨などの異常気象に見舞われ、北海道を中心とした二回の大地震による被害等も加わり、秋には底入れが期待できるとした年初の見通しも撤回され、さらに政治改革を最大の目標とする野党八党派の連立内閣が実現したこともあって、経済対策も遅れがちとなり、国内では冷えきった消費需要とともに雇用不安の問題も顕在化、明年度予算の編成も越年し、非常に厳しい局面を迎えています。

当地域におきましても、これらの影響を受け、好調であった観光面において、昨年前半の観光客入込数は前年に比べ減少し、市内大型店の売上も前年割れが続くなど、消費需要も大きく落込んできています。しかし、このような中でも、個人住宅建設の底固さや、一部高操業を維持している業種もありますが、全体としての経済活動は、より厳しさを増しているといえましよう。

さらに、昨年八月解決を目指し、強力な運動を繰返してきた新幹線の青函同時開業も、後一月というところで与野党、所を替わることとなり、決定が大きく遅れることとなりましたことは残念であります。しかし、このような厳しい状況ではありましたが、昨年は各界の優秀なコンサルタント等が、函館において多く

のシンポジウムを開催、多彩な分野から優れた頭脳がここの函館に集まり、それぞれのテーマ毎に、人知の持てる能力を一杯に發揮し論議を深めたことは、地域の知的水準のレベルアップに大きく貢献したばかりでなく函館そのものが教養、文化の高い地域として内外に発信されたと考えられるのであります。

また、サハリン州のユジノサハリンスク市とは、本年四月より定期航空便で結ばれ、この名実共に国際空港となる函館空港も、国際交流に大きく貢献していくことでしよう。本年度は姉妹都市との経済交流とともに、当地域と関係の深い東南アジア各国との交流を、一層拡大していきたいものと考えています。

さらに、四全総に示されている青函インターブロック交流圏構想や第二期テクノポリス函館計画のより具体的な推進を図るとともに、函館港の災害復旧を急ぎ、港湾計画に基づく事業の実施、函館空港の拡張工事の早期完成、懸案の函館駅前再開発事業の着手など諸懸案事業を強力に推進してまいりたいと存じます。

函館の将来にとって、大きな役割を果たすべき新幹線の青函同時開業、そして北海道縦貫自動車道の早期着工と函館側からの着手についても、引続き総力を挙げて推進してまいれる所存であります。

- このような状況の下で、函館商工会議所といたしましては、昨年同様
- 一 青函インターブロック交流圏構想の推進
 - 二 高速交通体系の確立と函館港の整備促進
 - 三 第二期テクノポリス函館計画と企業誘致の推進
 - 四 地元中小企業対策と観光資源の整備促進
 - 五 人材の確保と育成

この戦後最大ともいえる不況の影響を受け、平成六年度の経済成長率は、一％以下であると推計されている中で、新しい中小企業対策が具現化の方向にあり、地域の総合経済団体としての商工会議所の責務は、益々、重く大きくなってきており、商工会共々実施している小企業等経営改善普及事業はもとより、より高い次元から、函館圏域のさらなる発展のため、努力を重ねていかねばならないものと考えている次第であります。そしてこのためには、やはり一体化した経済団体の組織により、総合的に諸事業を推進することが最良でありますので、市内商工会との統合に向け、さらに本年も努力を尽くしてまいれる所存であります。

なお明年九月、本商工会議所は、設立認可以来百周年を迎えることとなりますので、この記念すべき日に向けての諸準備を進めていかねばなりません。

以上所信の一端を申し述べ、より一層の議員、会員皆様方のご支援、ご協力をお願い致しまして、私の新年のご挨拶といたします。

年頭所感



日本商工会議所
会頭 稲葉 興 作

全国の会員の皆様、明けましておめでとうございます。平素は商工会議所の事業活動に深いご理解をいただき、多大なご支援とご協力を賜り、まことに有り難く厚くお礼申し上げます。

さて、一日も早い景気回復を願う我々の期待も空しく、三年連続の不況の中で新年を迎えました。今年こそはなんととしても景気浮揚のきっかけを掴み、愁眉を開きたいと切望しております。

私は、昨年八月の日商会頭就任以来、各地の商工会議所を訪問し、地元の会頭・副会頭の皆様と親しく懇談させていただき、地域経済の実情を伺ってまいりましたが、その実態はまことに厳しく、廃業や倒産件数は日を追って増加し、雇用不安、失業問題が顕在化し、一部においては既に危機的様相を呈していると言っても過言ではありません。

こうした状況認識をもとに日商は、細川首相をはじめ経済関係の各大臣、政党領袖へ、大幅な所得税減税を中心とする追加的な景気刺激策の早期実施を強く求めてまいりました。しかし、ご高承の通り、政治改革関連法案の取り扱いをめぐって国会審議が長引いたこともあって、政府の機動的な対応が遅れたことはまことに残念です。この上は追加的な景気対策の効果が一刻も早く表れ、国民・企業に蔓延している先行き不安感が払拭されることを期待します。

しかしながら、こうした深刻な状況であるにもかかわらず、消費税問題、労働時間短縮、製造物責任、大店法見直し等々、産業界、とり

わけ中小企業にとって厳しい法律や制度の新設、改定の動きが目白押しに発生していることは極めて遺憾と言わざるを得ません。政府の生活者利益を優先する方針、そのための規制緩和、制度更改は一面において理解できますが、企業の存立さえ危ぶまれるこの時期に、新たな負担や制約をもたらすことには賛成いたしかねます。今はむしろ一日も早く景気を回復し、企業の経営基盤を安定させることを優先すべきであり、それが先々生活者利益を実現することにつながるものであると存じます。

ところで、最近の労働時間短縮、製造物責任問題等に関し、政府や学識経験者、マスコミ等の関係者から「これは既に先進各国が実施しており、国際化のために必要である」とか「それは時代の流れである」といった発言が聞かれることに大きな危機感を覚えます。敢えて私見を述べますと、米国の製造業は極端な製造物責任制度が大きな負担となつて衰退したという面があり、また、旧西独の産業は性急な労働時間短縮のコストを吸収できず、業績悪化に陥ったり国外へ逃避するなどの動きがあることも否めません。我々は、こうした事実を冷静に見極め、他山の石として将来何が本当に日本の国益となるのか、真剣に議論し合意していくことが必要だと考えます。

現在、日本の政治、経済および社会そのものの在り方がひとつの飽和点に達し、新しいシステムへの変革が求められていることは誰しもが認めるところです。私はその方向を考える時の基本は、民間活力の維持・増進、なかならず日本経済の大宗を占める中小企業の成長発展であると確信しております。従つて、日商の使命は、日本の中小企業が時代の変化に対応して自らも脱皮を遂げていく環境整備と、企業努力を支援することにほかならないと考えます。

私は、こうした観点に立つて今後とも会員の皆様のご意見を幅広く伺い、それを日商としての立場で総合的に集約し、行政の施策に反映できるよう務めてまいります。会員の皆様におかれましては、これまで以上に率直かつ建設的なご提案をいただくようお願い申し上げます。

最後になりましたが、皆様の社業のますますのご発展と、皆様のご健勝ご活躍を心からお祈りいたします。

会 議 所 の 動 き



第五回臨時議員総会開催 定款の一部改正等を決議

本所第九回常議員会が、去る十一月十六日日本所会議室において、また、第五回臨時議員総会が、去る十二月二日ホテル函館ロイヤルで、それぞれ開催されました。



▲議員総会で開会挨拶を行う若林会頭

まず、第九回常議員会では、常議員等二十三人が出席し、第八回総務委員会において決定された定款の一部改正についてを審議し、原案どおり臨時議員総会に提出することとしたほか、六十五歳継続雇用地域推進事業特別会計の設置と新会員の加入について、それぞれ議決した後、議長である若林会頭より追加議案として、札幌丘陵空港の拡張整備に係る決議が緊急上程され、審議の結果、原案どおり議決しました。なお、この決議をもって、十一月二十五日、北海道、札幌市などに対して陳情が行われました。

次に、第五回臨時議員総会は、議員など八十一人（うち委任出席二十六人）が出席して開催されました。

総会では、若林会頭の開会挨拶の後、部会・委員会よりの報告など七案件を了承した後、附議事項

の定款の一部改正については、原案どおり異議なく議決されました。主な内容は次のとおりです。

（報告事項）

- 一、議員の異動について
- 二、北海道商工会議所連合会からの報告について
- 三、陳情・要望活動について
- 四、部会・委員会よりの報告について
- 五、北海道南西沖地震及び鹿児島水害に対する見舞金について
- 六、六十五歳継続雇用地域推進事業特別会計の設置について
- 七、新会員の加入について

（附議事項）

第一号議案 定款の一部改正について

平成五年四月一日付で商工会議所法の施行令、施行規則が改正になり、従来、通商産業大臣の権限であった項目の一部が都道府県知事に委任されたため、本所定款第三十九条第二項及び第六十六条を法改正のとおり、それぞれ改正するものです。

優良商工従業員表彰式を挙げる 21名の永年の努力を講べる

本所主催の第三十五回「優良商工従業員表彰式」が、去る十一月二十四日、午後三時より、駅前拓銀ビル八階ホールにおいて開催されました。

本所では、労務管理対策事業の一環として、永年会員事業所に勤務し、且つ、勤務成績が特に優良と認められる従業員を毎年表彰しており、今回は六十八事業所より

推薦された二百二十一名の方々を受彰されました。

式典には、函館市、函館市議会、渡島支庁を始めとして多数の来賓および事業主の出席のもとで挙行され、初めに主催者を代表して若

林会頭より、「本日表彰を受けられる皆様は、職場こそ違いますが、

自らの職責を十分に認識され、永年にわたり企業発展のために努力され、ひいては地域経済の発展に貢献されてこられた方々です。本日

の受彰を契機として、明日への活力を高め、今後とも企業の繁栄に努力され、すばらしい郷土『函館』を築いて戴きたい」との挨拶

がなされた後、受彰者に表彰状と記念品が贈られ、永年の努力を讃えました。これに対し受彰者を代表

して、坂本修三氏（㈱丸又和田商店）から「本日、この荣誉ある表彰を受けることができたのも、

事業主を始め職場の同僚などの深いご理解があればこそであり、今

▲主催者挨拶を行う若林会頭



後も初心を忘れず、尚一層の努力を重ねて参ります」と謝辞が述べられました。

当日の受彰者は次の通りです。

※敬称略、勤続三十年以上、二十年以上、十年以上については代表者のみ掲載。

◎勤続四十年以上

・四事業所四名

坂本修三（㈱丸又和田商店）

藤谷昌良（藤尾輪業㈱）

山本 薫（㈱児玉商店）
大場 陟五（ベンケイ綿㈱）
◎勤続三十年以上

・十六事業所二十七名代表

中里俊之（日本化学飼料㈱）

◎勤続二十年以上

・三十一事業所七十五名代表

吉田智子（㈱定温組）

◎勤続十年以上

・四十五事業所百十五名代表

藍谷智子（㈱カドワキ洋菓子店）

「青函グルメサミット」開催

函館・青森両商工会議所青函圏特別委員会の共同事業である「青函グルメサミット」が、去る十二月九日、函館ロイヤルホテルで開催されました。

今回のサミットは、青函圏の豊かな食文化を地域振興、観光振興につなげる目的で、昨年度の青森開催に続いて開催されたもので、両市から商工会議所議員など約百名が参加、函館の郷土料理など、北の味覚の再発見に努めました。

サミットでは、函館側から松本副会頭、青森側からは沼田会頭の挨拶があり、続いて㈱はこだてわいんの梅村専務による「ワイン談義」と題した講話が行われました。

会食は、青森側の青函圏特別委員会委員長である中山副会頭の祝杯で始まり、ドンコの煮付、タコしゃぶ、イカソーメンなど函館・道南の郷土料理のほか、国際友好都市料理コーナーやイカ製品コーナーなどを設け、食問題について花を咲かせました。

最後に、グルメ観光の推進を始め、両商工会議所の一層の交流推進を確認し、函館側の柳沢青函圏特別委員会委員長の乾杯でサミットを閉会しました。

1部会幹事会と委員会開催

本所部会・委員会が、それぞれ次のおり開催され、新年度の事業計画等について意見交換がなされました。

○商業部会幹事会

△十一月十八日開催▽

(1)北海道スーパーマーケットダイエー(旧函館ダイエー)の柏木店及び花園店(増床)、(2)㈱アドバンスド・デパートメントストアーズオブジャパン〔㈱ADS〕(樺二森屋の営業権の譲渡)、(3)金森商船(新設)の以上三件の届出に係わる本所意見について協議され、いずれも届出どおりという事で会頭に報告することになりました。次いで、小規模事業者支援促進法の概要についての説明がなされたほか、平成六年度事業計画について意見交換が行われました。また、会員募集についての経過報告と更なる会員増加に向けての協力要請もなされました。

○文教委員会

△十一月二日開催▽

国立函館大学誘致運動の経過とロシア極東国立総合大学函館校設置について、函館市大学誘致推進室柴田室次長より説明の後、活発な意見交換が行われました。また、平成六年度事業計画についても検討され、同委員会としては、引続き人材の育成確保につながる国立函館大学の設置促進や技術教育の拡充整備などについて、積極的に取り組んでいくこととしました。

○国際交流委員会

△十一月九日開催▽

(1)平成五年度国際交流事業、(2)東南アジア諸国との交流、(3)平成六年度事業計画等について意見交換が行われました。

特に、東南アジア諸国との交流については、昨年函館市が実施した貿易実態・意向調査の資料に基づき検討の結果、市内企業による海外取引の最大の地域として、また、今後の事業拡大・新規開発を希望する地域として、東南アジアを一番手にかけている状況とともに

に、国際チャーター便の利用状況などを堪案し、今後、国際的な経済交流を推進するにあたり、東南アジア諸国、特に台北・香港・シンガポールなどとの交流に力を入れていくことを確認、そのための定期航空路線の開設に向けて、取り組んでいくこととしました。

○総務委員会

△十一月十一日開催▽

十一月十六日開催の第九回常議委員会提出議案としての定款の一部改正を始め、六十五歳継続雇用地域推進事業特別会計の設置、新会員の加入、そして北海道南西沖地震及び鹿児島水害に対する見舞金の最終結果などについて検討され、いずれも原案どおり提出することとなりました。

また、本所生命共済事業へ年齢群団体別掛金方式を導入することについて意見交換が行われ、明年度の実施に向けて幹事会社と協議することとなりました。

創立百年記念 事業実行委員会

去る十二月七日、第三回創立百年記念事業実行委員会が、本所に於いて開催されました。

当日は、記念誌編集小委員会で、創立百年(平成七年九月)を記念して作成する百年誌の編集方針や、委託業者の選定などの経過について報告がなされ、また、記念式典及び祝賀会開催小委員会は、全委員で組織することなどを決定し、いよいよ具体的に行動していくことになりました。

もし、参考となる古い資料をお持ちの方は、提供方ご協力下さい。

青森・函館 ツインシティ推進協

青森・函館両市のツインシティ提携に伴い、各分野での交流事業を推進し、両地域の一体的発展を目的とした「青森・函館ツインシティ推進協議会」が十一月二十四日、函館国際ホテルで開催され、両市の市長や若林本所会頭始め委員など三十五人が出席しました。

会議では、今年度会長の木戸浦函館市長が開会挨拶の後、引き続き議長となり、平成六年度から三カ年の各分野百二十六の交流事業について審議が行われ、原案通り新しい三カ年計画が決定しました。

陳情・要望活動等を積極的に展開 新幹線・丘珠空港・道路等

東北新幹線全線フル規格化、北海道新幹線早期着工実現総決起大会

細川新内閣の整備新幹線計画見直し体制が決定したのに合わせ、東北・北海道新幹線建設促進三道県協議会(会長・北村青森県知事)主催による「東北新幹線(盛岡・青森間)全線フル規格化、北海道新幹線(青森・札幌間)早期着工実現総決起大会」が、去る十一月十日、東京都・ホテルニューオータニで開催され、本所小笠原副会頭を始め、東北・北海道両地域の地元選出国會議員や経済界等の関係者六百余人が参加しました。

大会では、「東北新幹線(盛岡・青森間)の全線フル規格での建設及び北海道新幹線(青森・札幌間)の着工の決定を」との決議文が読み上げられ、満場一致でこれを採択するとともに、大会終了後、各県の代表者を中心に連立与党や関係省庁等に対し陳情を行いました。

道新幹線道南地方期成会並びに道新幹線期成会による中央陳情建設促進道南地方期成会(会長・本所若林会頭)が、同二十六日には北海道新幹線建設促進期成会(会長・横路北海道知事)がそれぞれ陳情を行いました。本所からは

十一月十五日には北海道新幹線建設促進道南地方期成会(会長・本所若林会頭)が、同二十六日には北海道新幹線建設促進期成会(会長・横路北海道知事)がそれぞれ陳情を行いました。本所からはいづれも若林会頭が参加し、連立与党や自由民主党に対して、北海道新幹線の早期着工と青函同時開業にかける地元の熱い熱意を伝えました。

丘珠空港の早期整備に関する陳情

広大な面積を有する本道にとつて、道内中核都市間の時間短縮は大きな課題となっており、道内の地方空港がジェット化されていく中で、この地方ネットワークの中核となるべき丘珠空港の拡張整備がなされないことは、大きな問題であるとして、去る十一月十日、みなみ北海道広域商工振興連絡協議会(会長・本所若林会頭)が、

そして、本所でも十一月十六日開催の常議員会で、丘珠空港の早期整備を決議、この決議をもとに去る十一月二十五日には、本所若林会頭、小笠原副会頭が同じく北海道及び札幌市を訪れ、丘珠空港の早期拡張整備について強力な陳情を行いました。また、十一月三十日にも、札幌丘珠空港整備促進協議会(会長・鈴木道商連会頭)による陳情が行われ、本所若林会頭と平野専務理事が参加しました。

道路関係予算確保及び高速道路建設促進全道総決起東京大会

長年にわたり陳情を続けてきた北海道縦貫自動車道七飯―長万部の早期着工について、去る十一月十九日、ようやく施行命令が出されました。地元では一日も早い着工をして供用開始が期待されています。

また、去る十一月二十六日には、「平成六年度道路関係予算確保及び高速道路建設促進全道総決起東京大会」が、東京都・都道府県会館において、木戸浦函館市長や本所若林会頭を始めとする道内の自治体、経済界等の関係者約二百七

経済団体問題研究会開催

去る十二月十日、経済団体問題研究会が、本所に於いて開催されました。

本所では、行政と共に地域の振興発展の一翼を担う経済界の立場から、所管する地域を越えて全市民的な諸課題の解決に努力していくことが重要であるとして、市内経済団体の現状と在り方を中心に、関係する問題を調査研究するため、商工会地区に事業所を持つ議員で構成する内部機関として設置されたものです。

当日の会議では、座長に谷口議員、同代行には飯田議員をそれぞれ選任したほか、今後の進め方などについて協議した結果、次回は本年二月ごろ開催することになりました。

事務局日誌

11月



* 正副会頭会議

- 2(火) 第49回正副会頭会議
- 16(火) 第50回正副会頭会議

* 常 議 員 会

- 16(火) 第9回常議員会

* 部 会

- 18(木) 商業部会幹事会

* 委 員 会

- 2(火) 文教委員会
- 9(火) 国際交流委員会
- 11(木) 総務委員会

* 会 議 (日 商)

- 5(金) 平成5年度商工調停士会

* 会 議 (道商連)

- 25(木) 第47回全国商工会議所専務理事・事務局長会議
- 30(火) 会頭・副会頭会議
- 〃 第113回常議員会
- 〃 第121回臨時会員総会
- 〃 正副会頭招待懇親会

* 審 査 会

- 17(水) 小企業等経営改善資金審査会

* 諸 会 議

- 1(月) ほくとう総研北東公庫地域活性化シンポジウム、交流会
- 5(金) (社) 函館観光協会平成5年度第4回理事会
- 〃 みなみ北海道広域商工振興連絡協議会第2回総会、懇親会
- 〃 日本産業分類の第10回改訂に伴う説明会
- 8(月) 函館税務署税務懇談会
- 9(火) 函館港利用促進協議会幹事会
- 〃 ~12(金) 経営指導員研修Cコース (商店街の活性化)
- 10(水) F M いるか第4回番組審議会
- 11(木) 第3回湯の川温泉街活性化事業計画策定部会
- 〃 平成5年度分野調整指導調査員連絡会議
- 16(火) 渡島支庁管内市町村長と商工会長会議、懇親会
- 17(水) 四者懇談会 (市長、渡島支庁長、日銀支店長、会頭)
- 〃 税務広報協力委員会議
- 18(木) (財)テクノポリス函館技術振興協会平成5年度第3回理事会
- 22(月) 平成5年度第2回函館市地方港湾審議会
- 〃 函館地域経済懇談会
- 24(木) 平成5年度青森・函館ツインシティ推進協議会
- 〃 雇用保険事務取扱説明会
- 〃 国税広報連絡協議会、懇親会
- 25(木) 平成5年度函館中小企業振興審議会
- 〃 新都心五稜郭協議会秋期例会、懇親会
- 〃 函館地域雇用協議会
- 〃 函館市競輪運営協議会
- 〃 婦人会役員会
- 26(金) 平成5年度第2回小規模企業振興委員連絡会議
- 〃 北海道大型観光キャンペーン打合せ会議
- 29(月) 丘珠空港の整備促進に関する懇談会
- 30(火) 北海道ウイズプラン協議会、懇親会

* 講 習 ・ 催 物

- 2(火)・5(金)・9(火) 複式簿記実務講座
- 12(金)・16(火)・19(金) 〃
- 8(月) 法人年末調整説明会
- 10(水)~15(月) 第16回大京都まつり
- 〃 経営相談
- 11(木)~16(火) '93タックスフェア
- 16(火)~17(水) 青函技術・ビジネス交流会
- 17(木) 発明相談
- 19(金)~20(土) 伝統加賀友禅工芸展北海道大会
- 25(木)~30(火) 平成5年度青函合同物産展
- 26(金) 法律相談

* 刊 行 物

所報「ともえ」11月号 No.147

* 相 談 ・ 診 断

金融 211 税務 13 経理 7 経営 51 労働 0
取引 0 その他 1 合計 283

* 賃 室

24

* 文 書

受信 148 発信 20

* 検 定 ・ 大 会

21(日) 第79回簿記検定試験

* 陳 情 ・ 要 望

- 10(水) 東北新幹線(盛岡・青森間)全線フル規格化、北海道新幹線(青森・札幌間)早期着工実現総決起大会
- 〃 みなみ北海道広域商工振興連絡協議会による丘珠空港の早期整備に係る陳情
- 15(月) 北海道新幹線建設促進道南地方期成会による中央陳情
- 25(木) 札幌丘珠空港の早期整備に係る陳情
- 26(金) 平成6年度道路関係予算確保及び高速道路建設促進全国総決起大会並びに中央陳情
- 〃 北海道新幹線建設促進期成会による中央陳情
- 30(火) 丘珠空港の整備促進に関する陳情

* 慶 弔 ・ そ の 他

- 1(日) 中国国際貿易促進委員会天津分会一行表敬訪問
- 〃 中国国際貿易促進委員会天津分会一行歓迎会
- 〃 (株)ニチロ軽部巧所長新任挨拶、佐藤三之介所長退任挨拶
- 2(火) 婦人会11月例会(レクリエーション)
- 〃 税を知る週間行事書道展審査
- 3(水) 平成5年函館市文化賞贈呈式、祝賀会
- 4(木) 函館地区移動大学講座開校式
- 〃 北東公庫小川東吾所長来所
- 〃 (株)池田組北海道支店取締役支店長安濃孝一氏来所
- 5(金) オーストラリア海軍函館親善訪問入港歓迎式
- 〃 オーストラリア海軍表敬訪問
- 〃 オーストラリア海軍艦上レセプション
- 〃 柳沢勝氏シンガポール政府観光局長賞観光領事就任を祝う会
- 〃 北海道電力(株)新支店長伊藤三雄氏着任挨拶、前支店長本田滋氏理事営業部長就任挨拶
- 6(土) 函館機械金属造船工業協同組合連合会平成5年度優秀技能者表彰、永年勤続優良従業員表彰式
- 〃 オーストラリア海軍軍艦函館親善訪問歓迎レセプション
- 8(月) (社)日本ソムリエ協会北海道支部平成5年度第4回例会セミナー、懇親会
- 〃 コミュニター航空デモフライト(兼松(株)主催)
- 9(火) 京都府物産協会一行表敬訪問
- 10(水) 大京都まつりオープニングセレモニー
- 〃 平成5年度函館市技能功労者表彰式、函館市中小企業永年勤続者表彰式
- 〃 北東公庫総務部次長桑原照雄氏、副調査役飯村豊氏、函館事務所副所長花巻省三氏来所
- 11(木) 東京海上火災保険(株)函館駅前支社支社長代理浦沢正彦氏来所
- 12(金) 函館青色申告会創立40周年、同婦人会創設25周年、函館青色会館竣工15周年記念式典、記念講演、記念祝賀会
- 〃 サハリン州行政府クラスノヤール知事一行との懇談会、歓迎夕食会
- 15(月) 函館税務署平成5年度納税表彰式
- 〃 道庁経済調査室による冷害の地域経済影響ヒアリング調査
- 〃 劇団四季札幌公演本部彼岸かおり女史、J R 北海道ディスプレイネーション事務局主席佐藤哲二氏、函館駅副駅長曾我將氏 J R 劇場 P R (オペラ座の怪人)
- 16(火) '93青函技術・ビジネス交流会出展者交流会
- 17(水) 函館税務署きき酒会、懇談会
- 〃 函館家具工業協同組合平成5年度永年勤続優良従業員表彰式
- 18(木) エアーニッポン(株)馬場参与来所
- 〃 みちのく銀行企画調査部長村井宏而氏、福原函館支店長来所
- 24(水) 函館商工会議所第35回優良商工従業員表彰式
- 26(金) 北海道警察函館方面本部管内永年勤続警察職員表彰式
- 30(火) (株)テレビ北海道函館送信所放送開始祝賀会
- 〃 (株)タイヨー製作所専務取締役岩瀬成雄氏北海道産業賞献賞(企業功労)受賞祝賀会



事務局日誌

12月

* 正副会頭会議

- 2(木) 第51回正副会頭会議
- 15(木) 第52回正副会頭会議
- 27(月) 第53回正副会頭会議

* 総 会

- 2(木) 第5回臨時議員総会

* 委 員 会

- 7(火) 第3回創立百年記念事業実行委員会

* 会 議 (道商連)

- 2(木)~ 3(金) 平成5年度全道商工会議所補助員研修会

* 査 査 会

- 1(火) 小企業等経営改善資金審査会
- 16(木) 小企業等経営改善資金審査会

* 議 会 議

- 2(木) 議員会総会、歳末懇親会
- 3(金) 所報「ともえ」新年号 No.148編集会議
- 6(月) 北海道新幹線建設促進期成会平成5年度第5回幹事会
- 8(火) 第2回函館地域特定中小企業集積支援技術開発事業推進委員会
- 9(木) 第24回箱館五稜郭祭実行委員会
- 10(金) 経済団体問題研究会
- 15(木) 北海道縦貫自動車道建設促進道南地方期成会担当課長会議
- 17(金) 「滄海友の会」設立発起人会
- 18(土) 函館繊維商組合正副組合長会議
- 20(月) 第8回地域振興フォーラム開催に関する打合せ
 ＊ 函館市商工観光部と補助金に関する打合せ
- 21(火) '94はこだて冬・フェスティバル実行委員会
- 22(水) (財)テクノポリス函館技術振興協会技術審査委員会
 ＊ (財)テクノポリス函館技術振興協会地域技術選定委員会
- 24(金) 第4回函館空港運営推進委員会
 ＊ 管理職会議

* 講 習 ・ 催 物

- 8(水) 経営相談
- 9(木)~11(土) フィンランド政府公認第6回サンタクロース来函
 「クリスマスイベント'93」
- 15(木) 青色申告者の決算及び年末調整
- 16(木) 小売店支援システムと情報ネットワーク化セミナー
- 24(金) 法律相談

* 刊 行 物

函館地域における経済の動き (平成4年度)

* 相 談 ・ 診 断

金融 167 税務 49 経理 7 経営 215 労働 1
 取引 1 その他 0 合計 440

* 貸 室 29

* 文 書 受信 166 発信 12

* 検 定 ・ 大 会

- 5(月) 第18回3回ワープロ技能検定試験
- ＊ 第17回全国小・中学生通信珠算競技大会

* 陳 情 ・ 要 望

- 17(金) 北海道新幹線建設促進期成会による北海道選出国議員との懇談会 (朝食会) 及び陳情
- ＊ 北海道新幹線建設促進期成会平成5年度第6回中央陳情

* 慶 弔 ・ そ の 他

- 1(水) (社)函館競馬場馬主協会平成5年度社会福祉財団助成金
 目録贈呈式。懇親会
 ＊ 共栄運輸(株)代表取締役社長塚田香氏、取締役営業部長
 久保杉英俊氏、山本常務表敬訪問
- 3(金) (社)函館市医師会官庁首席招待会
 ＊ (社)函館観光協会杉野氏来所
- 4(土) 自衛隊函館地方連絡部新庁舎披露
 ＊ 自衛隊函館地方連絡部創立37周年記念、感謝状贈呈式
 ＊ 自衛隊函館地方連絡部創立37周年記念、庁舎増改築落成
 祝賀会
 ＊ (株)樟二森屋平成5年度クリスマスディナーパーティー
- 9(木) 青函グルメサミット
- 10(金) フィンランド政府公認サンタクロース歓迎会
- 11(土) 熊野志郎氏叙勲祝賀会
- 14(火) 日本工業新聞社川端信広北海道支局長による取材
 ＊ 川田寛氏北海道開発功労賞受賞祝賀会
 ＊ (株)東急百貨店札幌店商業部長伊藤英明氏来所
 ＊ (株)みちのく銀行副頭取永井良孝氏、支店長福原則昭氏
 表敬訪問
 ＊ 所報「ともえ」新年号企画大角函館市亀田商工会長並びに
 中浜函館市銭亀沢商工会長と若林会頭との新春対談
- 15(水) (株)函館ハーバービュー・ホテル代表取締役社長石川雅二氏
 取締役支配人井上達久氏来所
- 16(木) 函館ケーブルテレビ新体制発足懇親会
- 17(金) 北海道電力 (株) 函館支店労務課鈴木薫副長来所
- 19(日) 函館ハリファックス協会クリスマスディナーパーティー
- 21(火) 函館シンガポール協会クリスマスパーティー
- 25(土) FMいるか開局一周年記念ひとネットワーク感謝
 パーティー
- 26(日) 函館日仏教会ファミリークリスマスの夕べ1993
- 27(月) 北海道旅客鉄道 (株) 函館支社長小島正克氏表敬訪問

ハードウェア、ソフトウェア、アプリケーションソフト等最適システムをご提供しております

株式会社 エスイーシー (SEC)

ニューメディアビル：函館市末広町22-1 ☎ 22-7188

電算センター：函館市末広町18-16 ☎ 22-7223

NEC マイコンショップ システムイン南北海道

O A センター：函館市末広町22-1 ☎ 26-9801

春

(掲載は五十音順となっております。)

三井生命保険相互会社函館支社
支社長

東 道 博

梁川町五十八

北海道パーケット工業(株)
代表取締役社長

井 村 守 俊

上磯郡上磯町七重浜七三一一

(株)布目
代表取締役社長

石 黒 義 男

弁天町一七一一〇

キングハイヤー(株)
代表取締役会長

今 川 重 男

美原二一七七一

ベンケイ綿(株)
代表取締役

飯 田 貢 一

昭和四一四一七

函館空港ビルディング(株)
代表取締役専務

泉 清 治

高松町五二一(函館空港内)

明治生命保険相互会社函館支社
支社長

岩 田 勝 三

大町九一二〇

函館米穀(株)
代表取締役社長

石 上 伊 佐 男

万代町二〇一二八

(株)第一印刷
代表取締役

板 垣 孝 雄

西桔梗町八二八一

朝日生命保険相互会社函館支社
支社長

岩 淵 清 典

梁川町五一一〇
(朝日生命函館梁川ビル)

(株)函館ハーバービューホテル
代表取締役社長

石 川 雅 二

若松町一四一一〇

国民金融公庫函館支店
支店長

稲 葉 尚 武

豊川町二〇一九

日本団体生命保険(株)函館支社
支社長

鵜 野 勝 教

本町八一一八
(日本団体生命函館ビル)